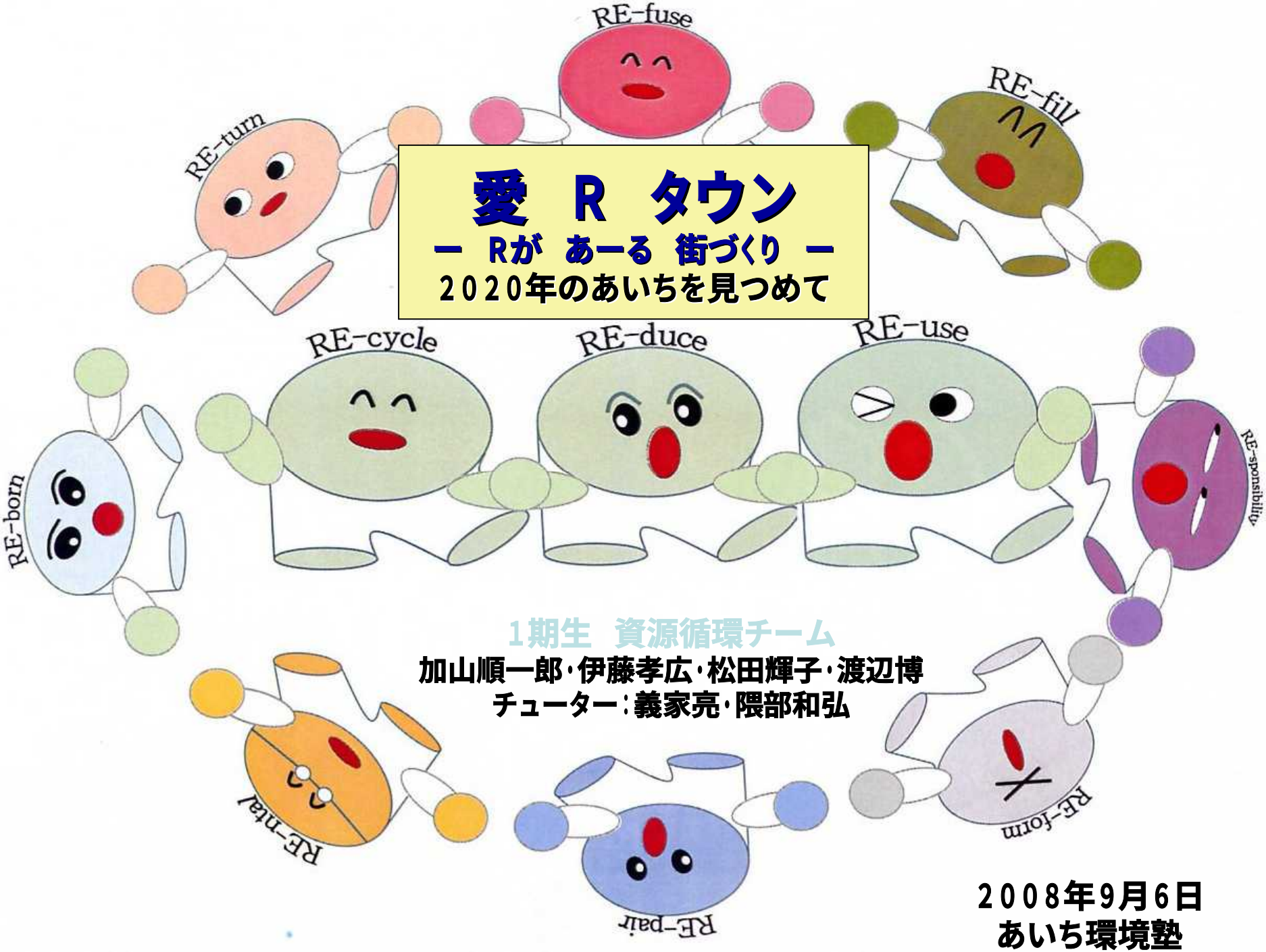


愛　R　タウン

ー　Rが　あーる　街づくり　ー

2020年のあいちを見つめて

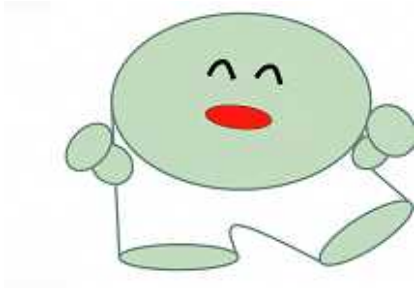
1期生　資源循環チーム

加山順一郎・伊藤孝広・松田輝子・渡辺博

チューター：義家亮・隈部和弘

2008年9月6日

あいち環境塾



目次

1．テーマ

2．背景

3．課題

4．提案

5．アクションプラン

テーマ 「愛 R タウン」
ー Rが あーる 街づくり ー

「3Rの推進をもとに、廃棄物抑制･有効利用･有効活用を主体とした街づくりの形成を目指す。」

人が生活するうえで必ず排出される廃棄物を、「わが街」で処理することにより、資源･エネルギー使用の無駄をなくし、資源循環型ニュータウン構想を提言する。

資源循環チーム

背景　：　一般廃棄物　(平成１７年)

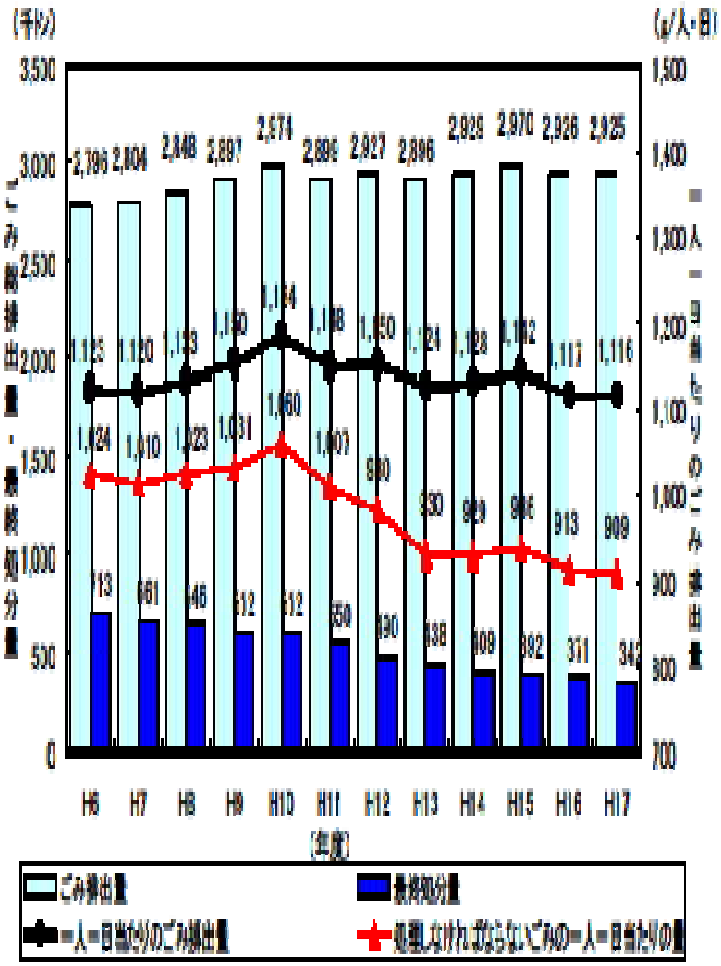


図１　ごみの排出量と最終処分量の推移

・処理しなければならないごみの
　一人一日あたりの量
　　９０９ｇ／人･日
・最終処分量
　　３４２千トン／年

約３３１ｋｇ／人･年

背景　：　産業廃棄物　(平成１７年)

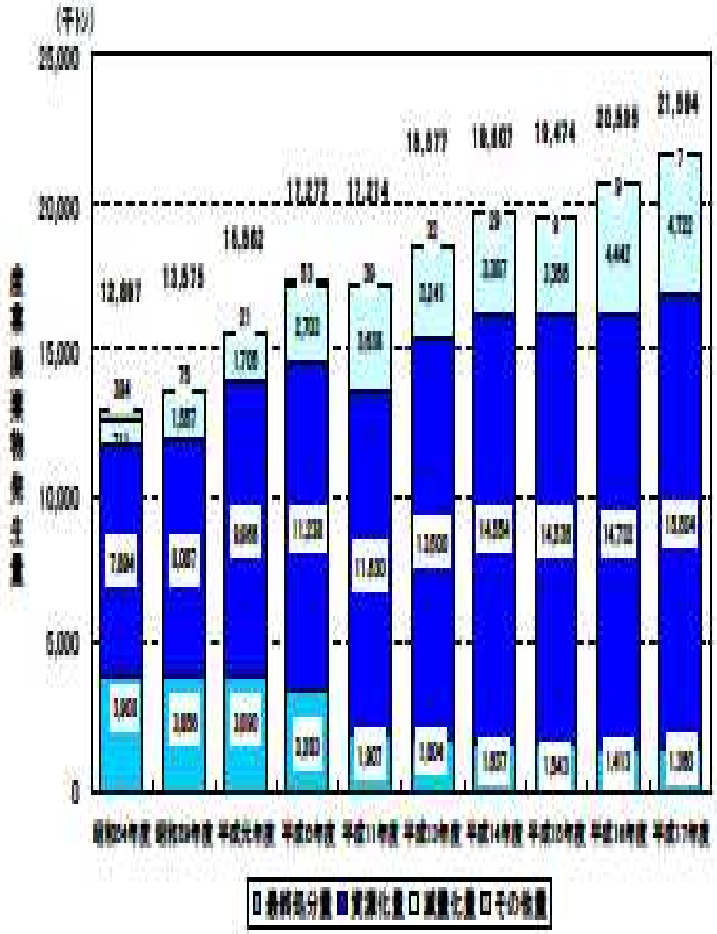
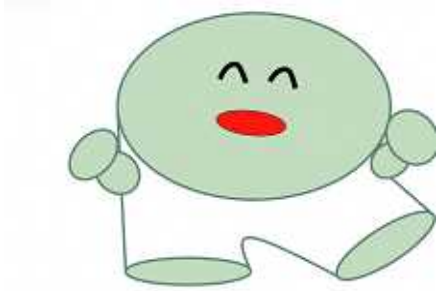


図12　産業廃棄物の処理・処分状況の推移

・産業廃棄物発生量
　２１,５９４千トン
・資源化量
　１５,５０５千トン
・減量化量
　４,７２２千トン
・最終処分量
　１,３６０千トン

最終処分量　１,３６０千トン



背景　：一般廃棄物　(平成１７年)

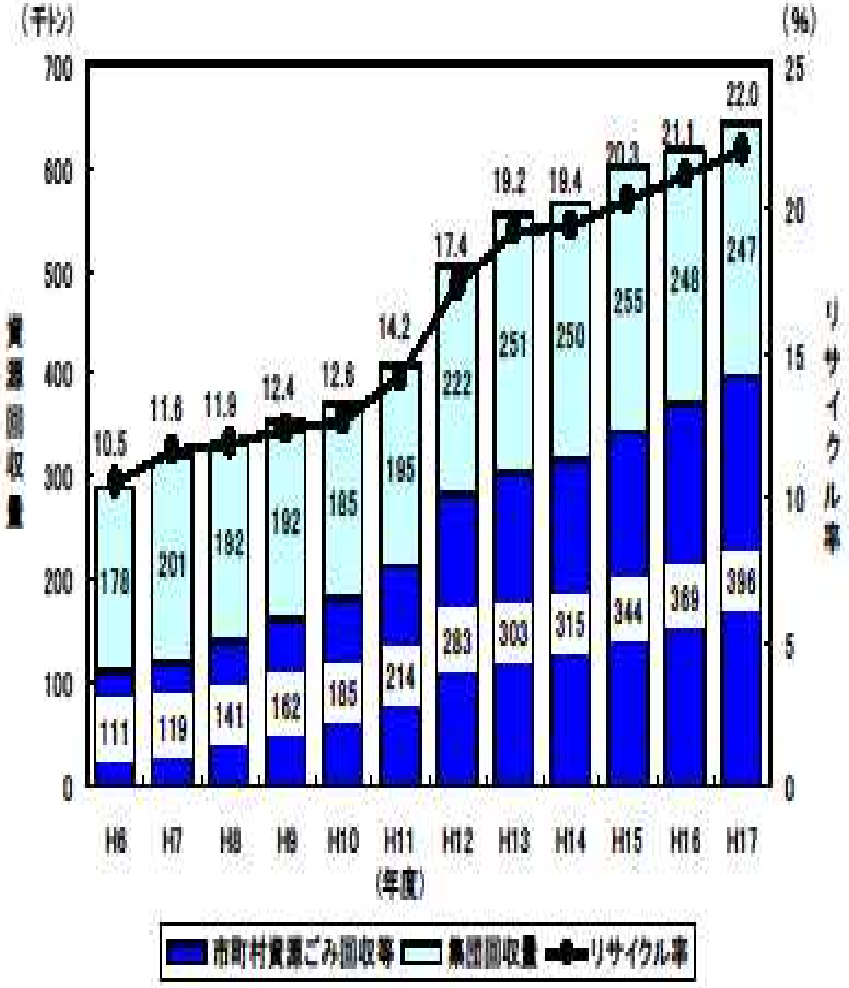
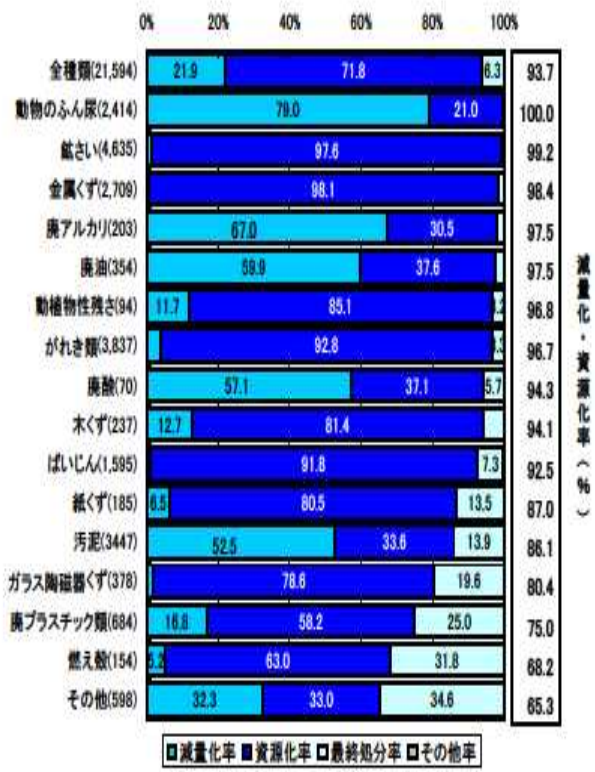


図４　資源回収量とリサイクル率の推移

・資源ごみ回収量
　３９６千トン
・集団回収量
　２４７千トン
・リサイクル率
　２２％（国の目標２０１０年：２４％）

資源化率　２２．０％

背景　：　産業廃棄物　(平成１７年)

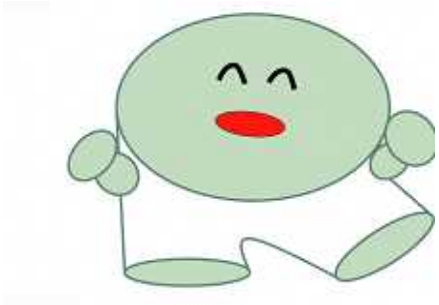


注1:（ ）は各廃棄物の発生量(千トン)を示す。
2:割合の小さいものは数値の表示を一部省略した。
3:数値は四捨五入のため合計が一致しないことがある。

図 14　産業廃棄物の種類別の処理・処分状況（平成 17 年度）

・減量化・資源化率
　９３．７％
・最終処分率
　６．３％
・最終処分率の高い物
　・燃え殻 (３１．８％)
　・廃プラスチック類 (２５．０％)
　・ガラス・陶磁器くず (１９．６％)
　・汚泥 (１３．９％)
　・紙くず (１３．５％)　　など

資源化率　９３．７％



背景　：一般廃棄物　(平成１７年)

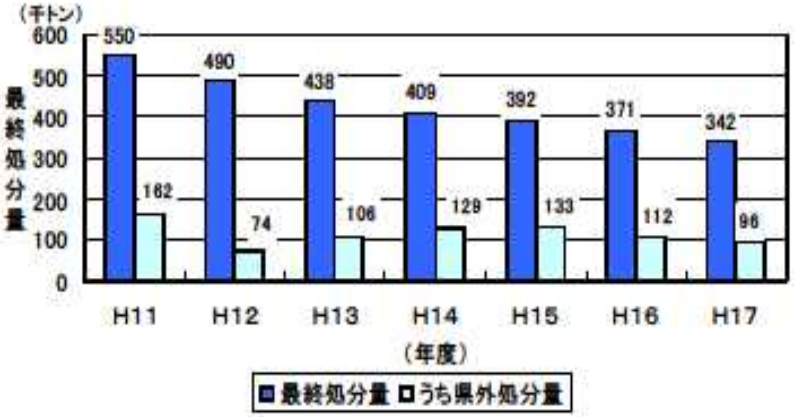
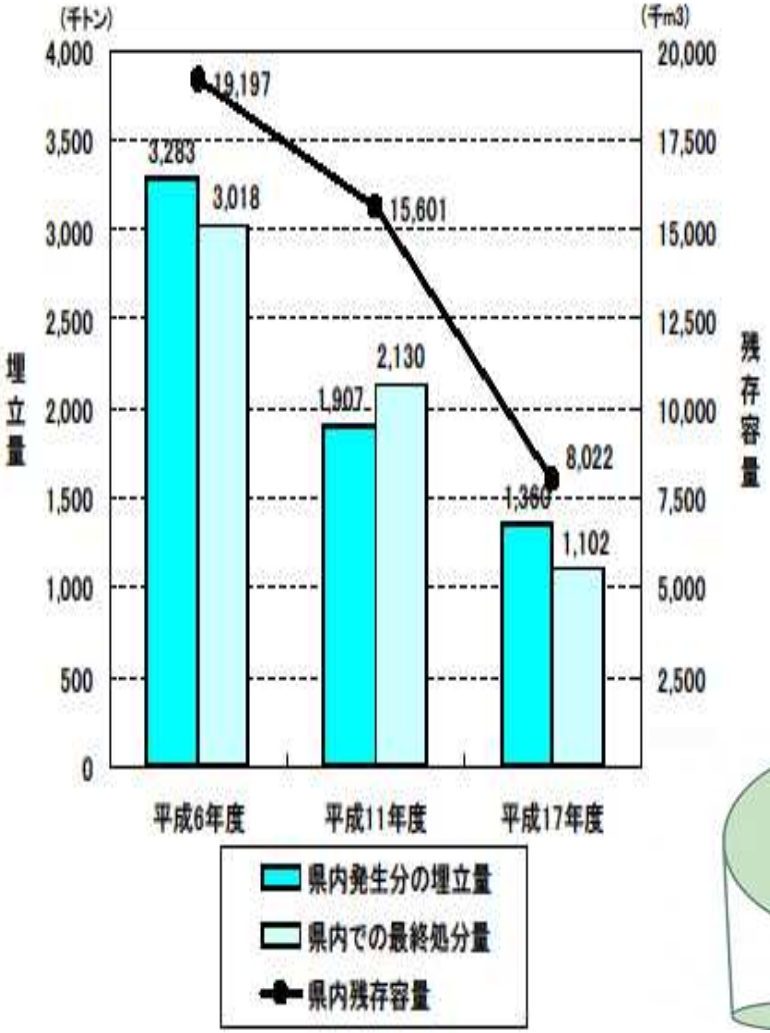


図６　一般廃棄物の最終処分量の推移

図７　一般廃棄物最終処分場の残存容量の推移

- 最終処分量
  ３４２千トン
- 最終処分場残存容量
  ３１９３千㎥
- 残余年数 (残存容量÷埋立容量)
  １４，4年　(平成１７年)

背景　：　産業廃棄物　(平成１７年)



・最終処分量

　県内発生分　1,360千トン

　県外搬出量　321千トン

　県外搬入量　63千トン

・最終処分場残存容量

　8,021．7千㎥

・残余年数 (残存容量÷(最終処分量－県外搬出量＋県外搬入量)

　(1㎥＝1トンとする)

　7．3年 (平成17年)

2012年には埋立不能

目指すべき姿

地産・地消・地Re-Change（輪がR街）

「わが街」で出した廃棄物を、「わが街」で処理することにより、資源・エネルギー使用の無駄をなくし、資源循環型の街づくりをする。

「愛　R　タウン」

・一人当たりのごみの排出量

90g／人・日（約32kg／人・年）

・一廃・産廃を区別しない処理

・資源化率95%

・街の中心にリサイクルステーション（総合廃棄物処理施設）

課　　題

①郊外にある処理施設
　なぜ、郊外なの？(NIMBY)
　　エネルギーの無駄使いでは！
　　地元で排出されたものは地元で処理！

②一廃・産廃の区別した非効率な処理
　　なぜ、同じ物質を別々に排出するの！
　　なぜ、同じ物質を別々に回収するの！
　　なぜ、同じ物質を別々に処理（リサイクル）するの！
　　なぜ、同じ物質を別々に埋め立てるの！

　　全て2通り（一廃・産廃）の排出・回収・処理・埋立⇒無駄では！！！

提案　：　廃棄物処理施設を中心にした街づくり

①なぜ郊外の処理施設？

・運搬によるエネルギーの無駄がない
・RE-sponsibility(排出者責任)
・効率的なエネルギー回収と利用
・廃棄物量・処理費用・最終処分場残余量等の情報公開
・「物を大切に」・「もったいない」の教育

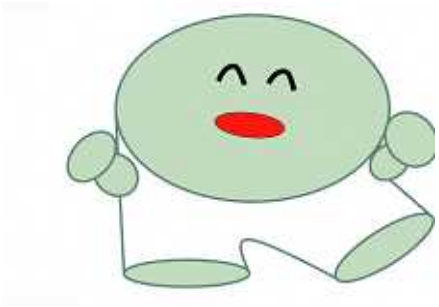
だから街の中心へ！！！

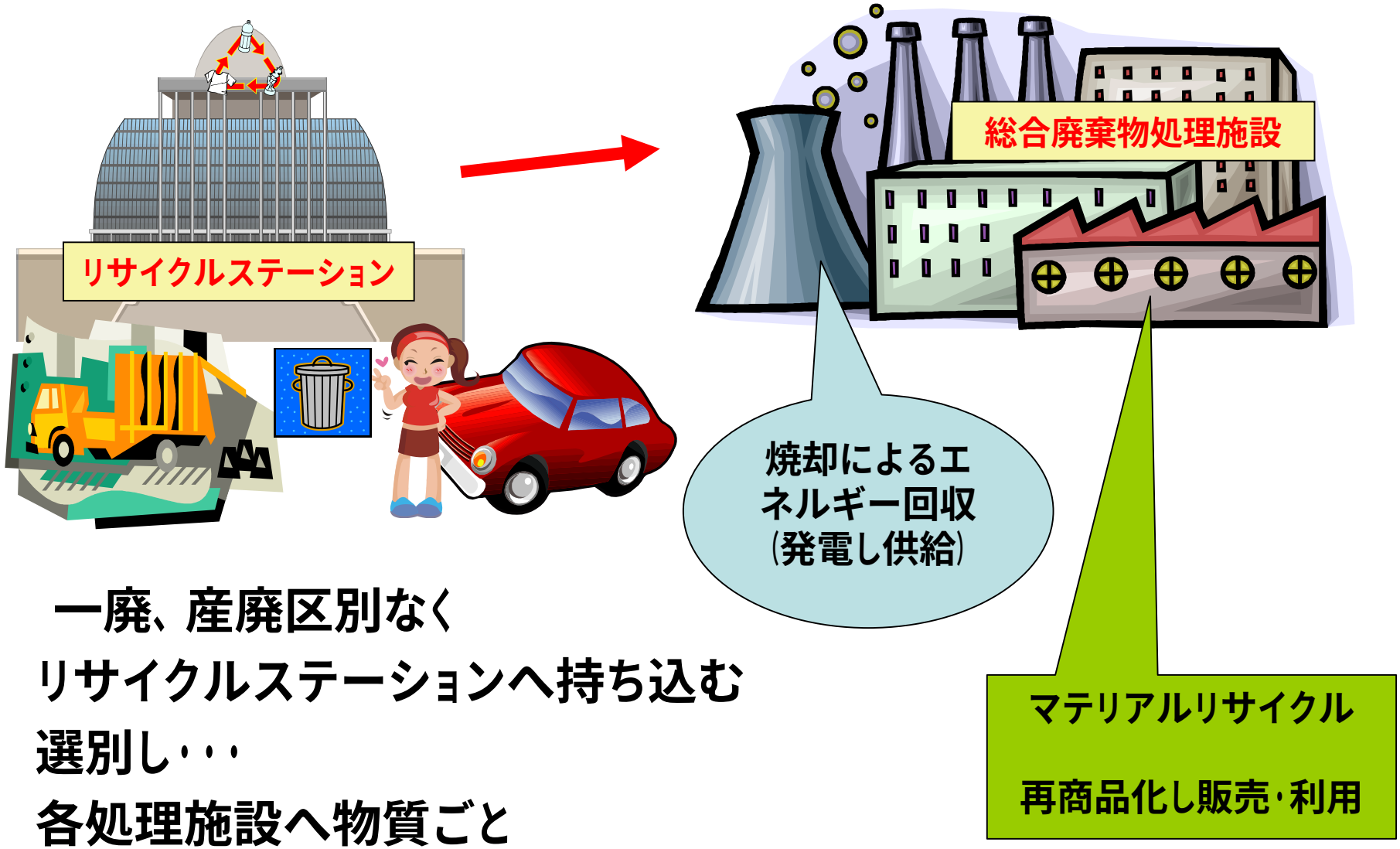
②一廃・産廃の区別した非効率な処理

・処理処分者の一元化
・排出物質ごとの効率的処理、資源化
・処理施設の一元化

一廃・産廃の区別ではなく、排出物質ごとの処理をする

⇒効率的なリサイクルが可能となる

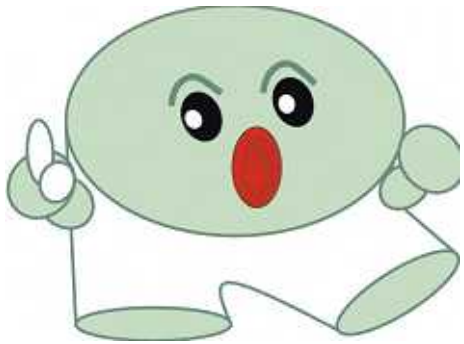


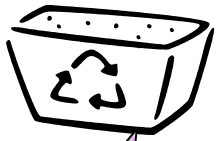


一廃、産廃区別なく

- リサイクルステーションへ持ち込む
- 選別し・・・
- 各処理施設へ物質ごと

地下には水耕栽培設備を設け
24hr体制にて野菜を育成する。
照明･空調は焼却炉にて得た電力を
使用する。
ゼロエネルギーでの栽培野菜をブラ
ンド化し、収入源とする。



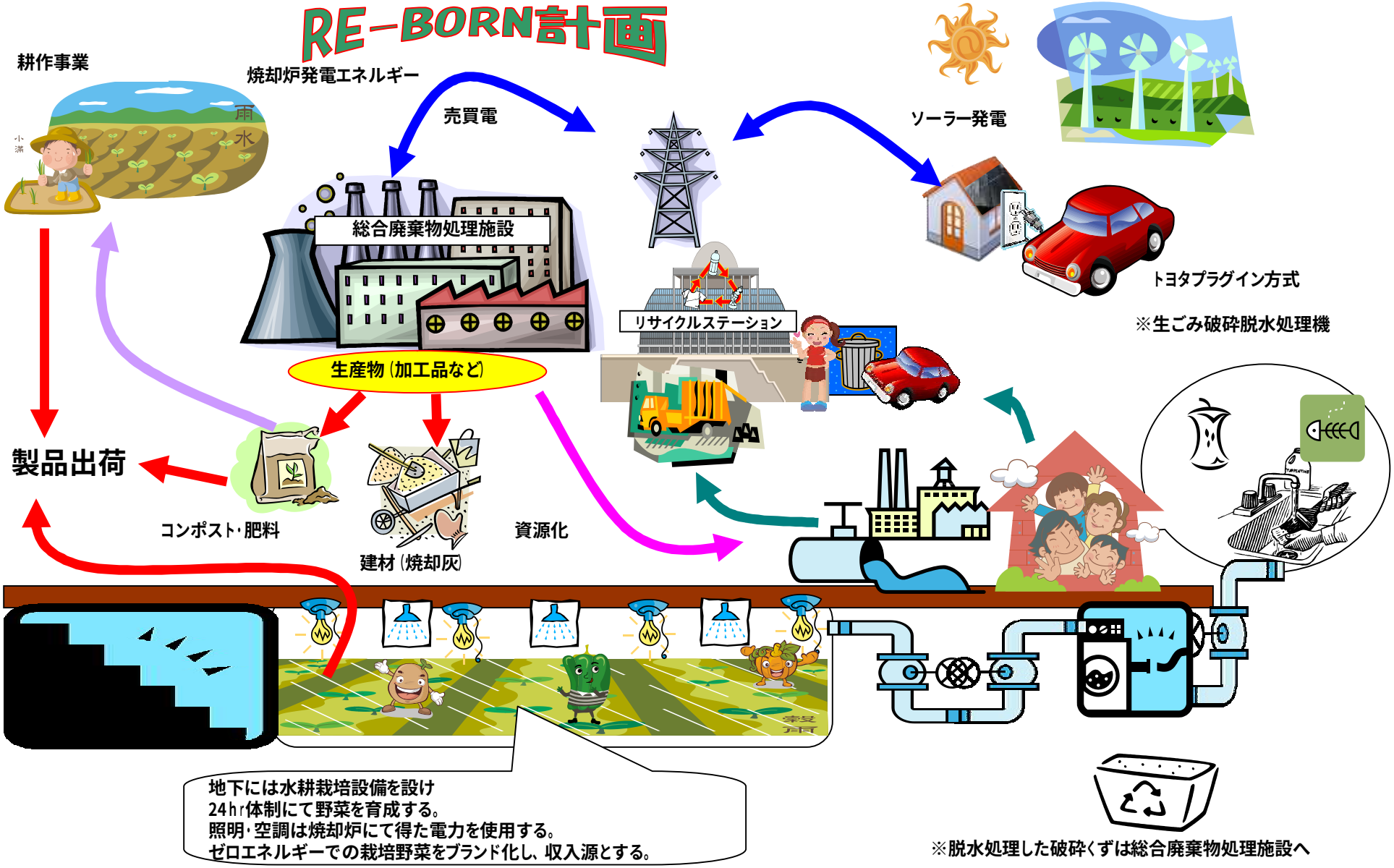


焼却
Or
コンポスト

生ゴミを破砕･脱水

排水：養分として水耕栽
培に利用

RE-BORN計画



資源循環チーム

アクションプラン

・法整備、条例改正

・過疎化したニュータウンの再構築（愛Rタウン）

・あいち環境塾　第1期生全チームによる集大成
～NEW PROJECT始動～